



あなたのことを教えてください

と、訊かれたらどんなことを答えますか？

仕事・家族・成育歴

性格

趣味

気がかり・悩み事・嬉しいこと 等々

人生物語り

この患者さんは、80年の人生最終の35日間を緩和ケア病棟で過ごされ生涯を終えました。

患者さんとの関わりの中で、この方の人生観、価値観、生き方そのものを教えていただきました。

自分の人生で大切にしてきたものを語ることで、この方の人となり伝え、尊厳をもって最期を迎えられたのではないかと思います。

ディグニティセラピー

緩和ケアとは、

尊厳のうちに最期を迎えることが

できるように支えること

Dignity-conserving care—a new model for palliative care : helping the patient feel valued.

緩和ケアの基本的な信条は、**患者が尊厳のうちに最期を迎えることができるように支えることが目的**であると要約されるであろう。“Dignity”という言葉は、医師、患者、家族にend-of-life careの課題、また治療に値するものであるということを明確にするガイドとなる枠組みを提示する。尊厳を守るケアとは、死にゆく患者の尊厳を維持する、あるいは強めることができるケアである。進行肺癌の患者とその家族、緩和ケア医のインタビューを通じて、この論文は尊厳を守るケアとそのもとになっているモデルの様々な局面を描き、探究している。尊厳を守るケアは死を間近にした患者のベッドサイドで行うべき治療であり基本的なことである。尊厳を維持することを明確に目的としたアプローチを臨床家が応用できる形で提供する。

Chochinov HM:JAMA,2002 MAY 1;287(17)

尊厳とは？

Dignity : true worth and nobleness of character

尊厳：尊くおごそかで、おかしがたいこと（広辞苑）

尊厳死：一個の人格としての尊厳を保って死を迎える、

あるいはむかえさせること。近代医学の延命技術などが、死に臨む人の人間性を無視しがちであることへの反省として、認識されるようになった。（広辞苑）

death with dignity

あなたにとって大切なものは？

- 人生において、最も大切だと考えていることはどんなことでしょうか？
- あなた自身について、大切な人に知っておいてほしいこととか、覚えておいてもらいたいことが、ありますか？
- 最も重要な達成は何でしょうか？ 何に一番誇りを感じていますか？

あなたにとって大切なものは？

- あなたが人生において果たした役割のうち、最も大切なものは、何でしょうか？なぜそれは重要なのでしょうか？なぜ、それを成し遂げたのだと思いますか？
- 大切な人に言っておかなければならないと感じていることはありますか？話しておきたいことが、ありますか？

あなたにとって大切なものは？

- ・大切な人に対するあなたの希望や夢は、どんなことでしょうか？
- ・人生から学んだことで、他の人たちに伝えておきたいことは、どんなことですか？残しておきたい助言は、どんなものでしょう？
- ・将来、大切な人の役にたつように、残しておきたい言葉がありますか？

ホスピスはコミュニティ

（シシリー ソンダース）

死に瀕している人の世話をすることは協働のなせる仕事である。全ての人に関わる。看護師は患者を快適にし、医師は患者に薬を与え、どんな質問にも答え、牧師は患者を訪問し、セラピストはリハビリで身体をほぐし、カウンセラーは患者に関心を抱き、調理師は患者の食欲を増進し、ソーシャルワーカーは人々に患者のニーズを教えてくれる。ホスピスは、病院であり、家庭である。

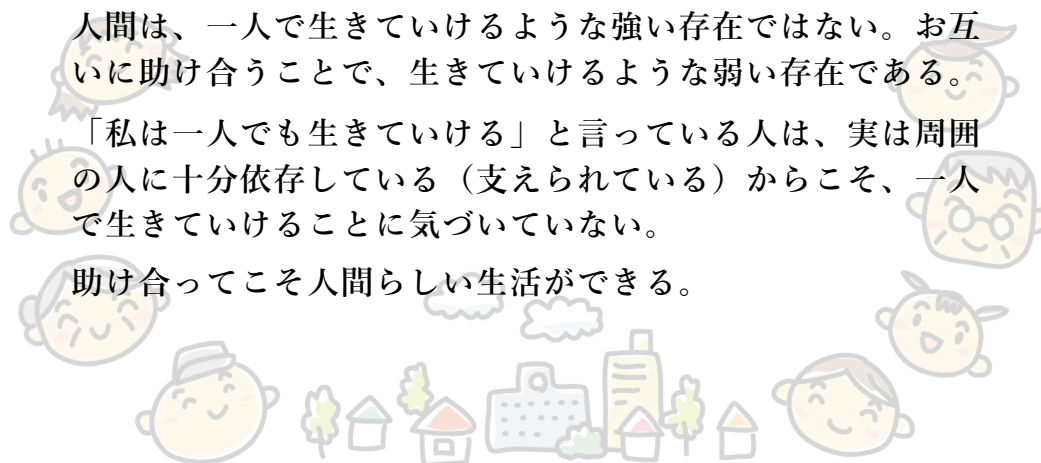
地域全体がホスピスになること、地域で緩和ケアを担う

コミュニティの中で生きている

人間は、一人で生きていけるような強い存在ではない。お互いに助け合うことで、生きていけるような弱い存在である。

「私は一人でも生きていける」と言っている人は、実は周囲の人に十分依存している（支えられている）からこそ、一人で生きていけることに気づいていない。

助け合ってこそ人間らしい生活ができる。



コミュニティの中で生きている

人間らしい生活をするためには、お互いに支え合うことが、社会的に求められる。

不運・不当にも不利な状況・苦しい状況に追い込まれた他者の生を支える責任を、私たちは共同で負っている。医療・介護もそのような責任を伴う社会的な営み（コミュニティ）の一つである。



コミュニティの成立

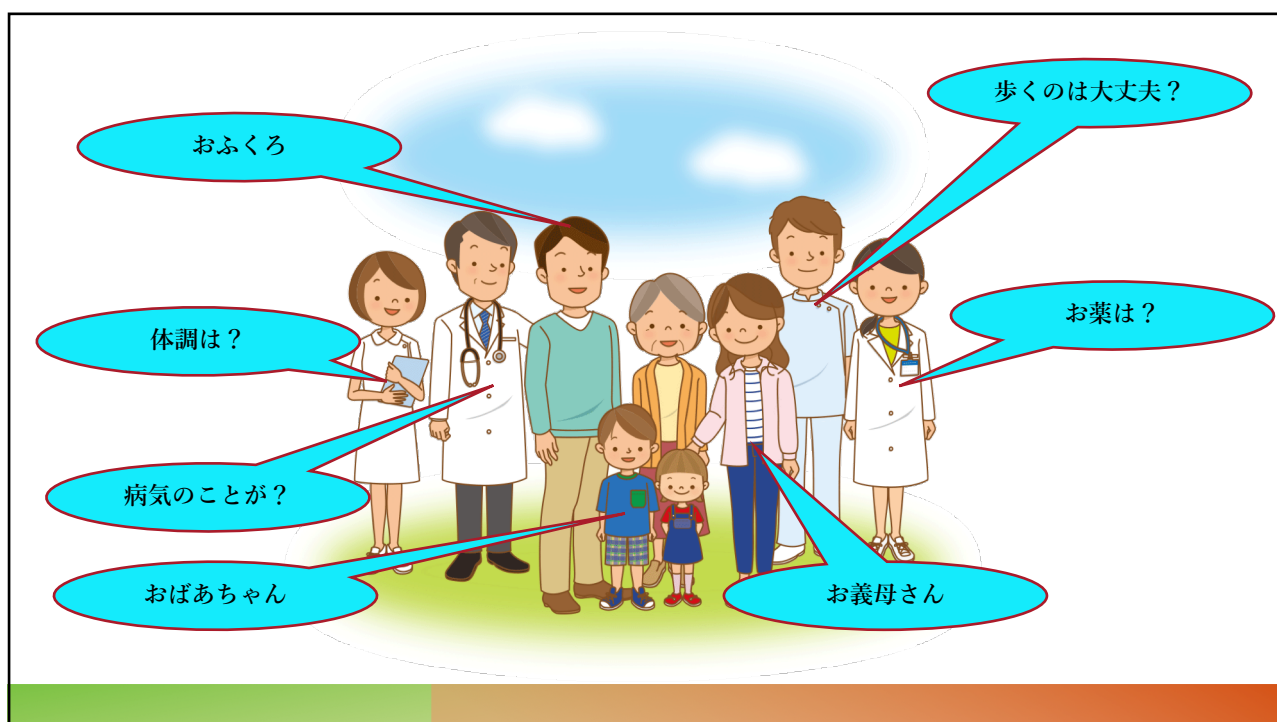
コミュニティ＝共同体

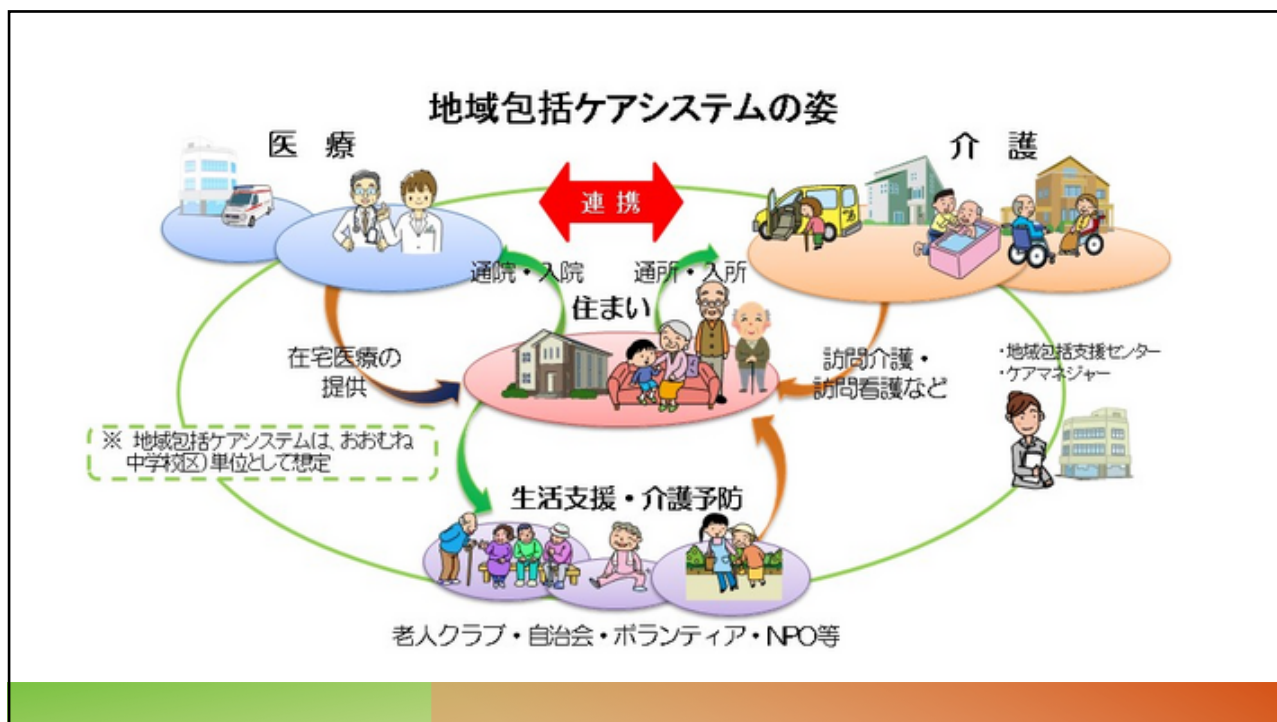
コミュニティの成員が、個々に自分の立ち位置を意識する

互いの職種の専門性からの視点をもつ

コミュニケーションを使ってコミュニティの成立に寄与する

（コミュニケーションとは、一方的な情報の伝達だけでなく、相手の意見も聞いて、やり取りしながら情報・目的・価値観などを「共有」していく過程のこと）





和やかな地域連携のために？

地域連携：Regional Cooperation

- －地域における協力！
- －一方的な情報の伝達だけでなく、相手の意見も聞いて、やり取りしながら情報・目的・価値観などを「共有」し助けを必要としている人を支えること

コミュニケーション！！！！





すばる薬局 東店について

すばる薬局 東店

- ・ 本年10月1日に開局
- ・ 門前に医療機関なし
- ・ 在宅訪問での薬剤管理指導がメイン
- ・ クリーンベンチ設置 無菌調剤可能

19

当薬局の在宅医療に関する取り組み

往診同行・処方提案

医師の往診に同行し、患者様の状態を共に確認。
訪問時に得られた情報をもとに処方提案等を行う。

患者様の状態に合わせた 調剤・管理方法の提案

服薬・管理状況やご家族・スタッフの協力状況を鑑み、一包化や粉碎調剤、お薬カレンダーやお薬ボックスでの管理を提案。残薬を確認し日数調整を提案。

施設調剤

高齢者等入居施設においては、施設のスタッフが管理しやすいよう要望に合わせて名前・用法・日付の印字や服用時点ごとの色分けを行う。

注射薬無菌調剤

クリーンベンチを使用し、TPN製剤への薬液の混注、持続注入ポンプ(PCAポンプ)カセットへの麻薬注射剤等の充填を無菌環境で行う。



ポンプレンタル

中心静脈栄養剤注入ポンプ、PCAポンプ)を在宅医療で使用されるクリニックに対し、各種ポンプの貸出が可能。



20

事例紹介

- ◇80代女性
- ◇地域のクリニック(内科・精神科・整形外科)及び基幹病院(呼吸器内科)へ通院していた
- ◇服薬に対する不安あり?

- ・4か所の医療機関に通院、薬局はその都度選んでいた(帰り道にある薬局等)
- ・薬局が定まっていないこともあり、把握されていない残薬が多数あった



21

事例紹介

- ◇80代女性
- ◇地域のクリニック(内科・精神科・整形外科)及び基幹病院(呼吸器内科)へ通院していた
- ◇服薬に対する不安あり?

- ・カレンダーで自己管理
- ・シートから薬を出して一包化されることに抵抗がある(「何を飲んでるのか把握できない」)
- ・シートを一回分ずつ切り、チャック袋にまとめてカレンダーへ入れていた



⇒入れ間違いや入れ忘れあり

22

事例紹介

- ◇80代女性
- ◇地域のクリニック(内科・精神科・整形外科)及び基幹病院(呼吸器内科)へ通院していた
- ◇服薬に対する不安あり?

現在

- ・2週間に1度の往診で経過を観察
- ・通院は数か月に1度基幹病院(精神科・呼吸器内科)のみ
- ・薬はすべて当薬局で調剤・セット



残薬解消、飲み忘れもほぼなし

23

今後の目標



ご自宅等でも最適な治療を受けられる体制作り

医療・介護体制への不安から、ご自宅での療養を諦める患者様を減らしたい
⇒ポンプ類の提供、無菌調剤の実施、迅速な対応
オピオイド鎮痛薬等の在庫を増やし、夜間・休日にも払出可能に

多職種の連携でより良いケアを提供

患者様を支える仲間として連携し、問題解決に努める

地域の皆さまが自宅で安心して
ケアを受けられるように

24



エンドオブライフケアと 在宅患者訪問薬剤指導

パンダ薬局
株式会社ヒロキ薬局
代表取締役 米倉 央

本日のレジュメ

- 薬局の状況
- 症例
- 今後の在宅医療における薬剤師のあり方

薬局薬剤師が関わる在宅医療

- 医師が訪問診療を行い処方された薬剤を患家へ届け、効能効果の説明、副作用や残薬のチェック、服薬状況を確認することで適切な薬剤の使用が行われるよう指導しています。
- 主に緩和ケアや難病、慢性疾患に対して行う訪問薬剤管理指導と介護保険を使用した居宅療養管理指導に分かれています。
- いずれも医師の指示が必要

薬剤師の業務って地味で地味で地味。。。。

- なぜそう思うのか
 - そもそも薬剤師の業務のほとんどは患者さんに渡すまでに終わっている。患者さんに渡す時には問題は解決されている。
 - 処方監査、前回処方比較、調剤（ピッキング）、調剤監査、投薬、薬歴記入、報告書作成
 - ジェネリック医薬品の流通状況の悪化による薬剤確保の困難化
 - 麻薬や流通管理がある薬は当日確保するのが難しい

エンドオブライフケアにおける薬剤師の役割

- 患家にて行われる在宅医療に必要な薬剤を用意し、効能効果の説明、残薬チェックや副作用のチェック
- 麻薬など特殊な薬剤が処方された際、多職種の方に使用方法を説明したり、適正な使用方法を提案している。
- 無菌調剤が必要な薬剤の調製、最新の治療方法の提案

患者例①

- 以前までは外来で来局されていた患者さん
- 入院をきっかけに来局が困難な状態になり、お薬の種類も増えたり減ったりする。自分では理解できず管理するのが大変で困っている。
- 2科受診で22種類の薬を服用している。
- ヘルパーさんが毎朝来てくれるので薬剤師のカレンダー管理とヘルパーさんの1日分の薬をセットする2つを組み合わせている。
- お薬の内容が変わったときはヘルパーさんと共有している。

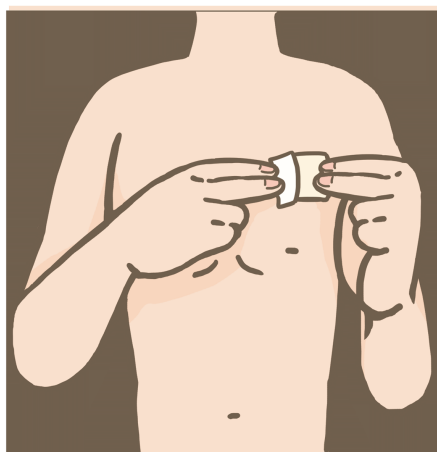
居宅療養管理指導



患者例②

- すい臓がんステージ4で入院していらっしゃる患者さんを自宅で看取ってあげたい、家に帰りたいということで在宅医療に切り替わった。
- 家族の方も初めての看取りになることが多く、理解が不十分なことも多いため連絡や説明なども十分時間を取って行っています。
- 処方：フェントステープ2mg、アンペック坐剤20mg、ロセフィン点滴静注用
- いずれも急を要することが多いので在庫の種類を豊富に揃えるようにしています。

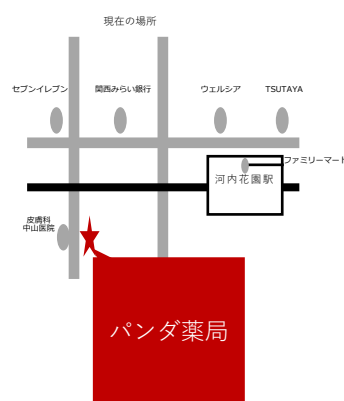
緩和ケア、看取り



在宅医療における薬剤師

- 薬剤師が参加することで薬に関する問題をいつでも相談しやすくなる環境を作り、患者さんの在宅医療の質を向上させることができます。
- 薬物治療において疑問が出てきた時に、医師より気軽に相談できる薬剤師にまず相談していただけるようになっていきたいと思えます。
- 薬剤師に求める役割、ニーズを皆様からも教わりたいと思えます。

東大阪、八尾を中心に在宅訪問をおこなっております。





ハイ・メディック株式会社
代表取締役

中西 敏子

【経歴】

看護師歴40年。
大阪エキサイ会病院にて10年以上
退院支援に携わる。
2020年1月
大阪市西区で「つむぎ定期巡回訪問
介護看護ステーション」開業。
2022年7月
長年育った東大阪で、これまでの
経験を生かし、「みのり訪問看護
ステーション」開業。
同年10月
「看護小規模多機能ケアホーム
みのり」開所。



看護小規模多機能ケアホーム **みのり** とは

「訪問看護」「訪問介護」「通い」「お泊り」——。
みのりでは異なる4つのサービスを一体的に行っています。
スタッフは「チームみのり」としてすべてのサービスに関わるため、
サービスごとに新たな人間関係を築く必要はありません。
利用者様の既往やお人柄、得意なことや苦手なことなどを
しっかりと把握し理解した顔なじみのスタッフが
24時間365日いつでも見守り、駆けつける。
地域に根差した看護小規模多機能型ならではのサービスです。

住み慣れた町で
みのり多き豊かな日々を。
それが「ケアホームみのり」の願いです。

Q 「看護小規模多機能型居宅介護ってどんなサービス？」

——健康不安があっても、自宅生活を安心・安全に過ごすための複合サービスです。



訪問看護

点滴やインスリン注射、スプレーやパルミット管理など、日常生活において医療的なサポートが必要な利用者様の自宅に定期的に訪問し、医師との連携のもと、安心してご自宅での療養生活を送っていただけるよう支援します。

訪問介護

体力低下や認知症により増えてくる自宅生活での困りごと。訪問介護では買い物、掃除、洗濯に調理といった生活面でのサポートはもちろん、排泄やお着替え、お食事や服薬、外出のサポートなど、利用者様にしっかりと寄り添ったサービスをご提供します。

「訪問看護」「訪問介護」「通い」「お泊り」——。
みのりでは異なる4つのサービスを一つの事業所で一体的に行っています。
スタッフは「チームみのり」として、訪問・通い・お泊りとすべてのサービスに関わるため、サービスごとに新たな人間関係を築く必要はありません。
利用者様の既往やお人柄、お得意なことや苦手なことなどをしっかりと把握し、理解した顔なじみのスタッフが対応しますので、どのサービスをご利用の態もストレスなく、情報共有もスムーズ。特にお泊りは心細いものですが、訪問や通いで気心の知れたスタッフが夜間もそばにいる安心感は、看護小規模多機能型ならではの大きなメリットです。

通い

体を動かしたりおしゃべりしたり、お風呂を楽しんだり。新しい人との出会いが、いくつになっても人生を豊かにします。人との交流を通して、暮らしに活力と彩りを。「人生の放課後」を共に楽しみたい。

お泊まり

訪問や通いで顔なじみのスタッフが、24時間体制で見守ります。利用者様の既往はもちろんですが、考え方や感じ方、こだわりなど、普段の姿を理解しているからこそその安心感で、ご家族様の休息と利用者様の安全をサポートします。

※「通い」「お泊り」のご利用の場合は、利用料とは別に食事代、部屋代（泊まり）等が必要となります。



Team **みのり**

ご自宅での暮らしを支える看護と介護のネットワーク
それが「看護小規模多機能型居宅介護」です。

医療的ケア

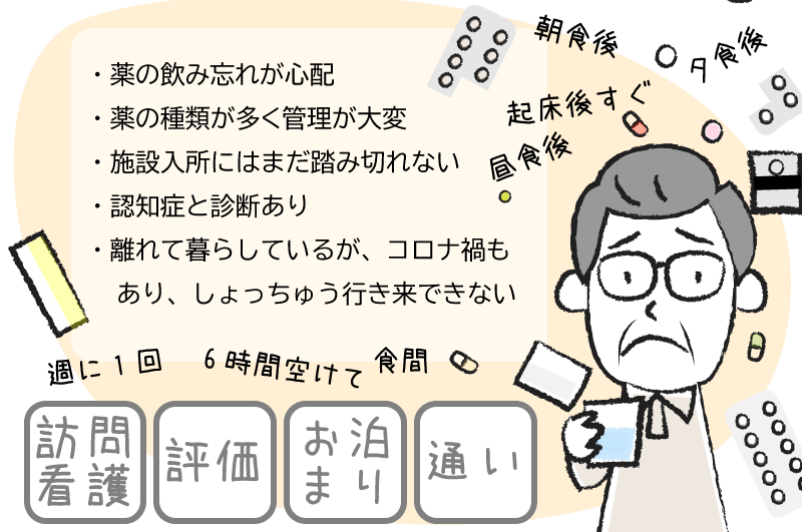


- ・ストーマやバルーンの管理が心配
- ・体調によって点滴が必要
- ・在宅酸素を使っている
- ・時々痰の吸引が必要

- ・がん末期 ・認知症 ・ストーマ
- ・バルーン ・点滴 ・胃ろう
- ・ペインコントロール ・褥瘡処置
- ・創処置…など、医療的な処置が必要な方をお受けすることが可能です。

ケース 1. 退院直後などの見守り、安否確認

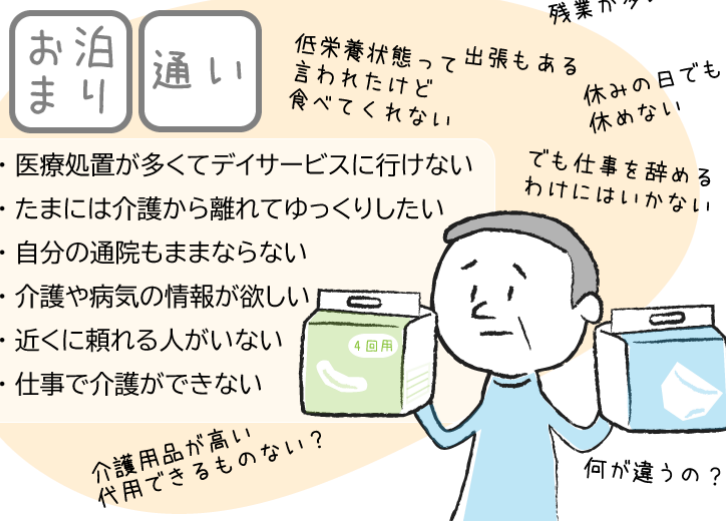
- ・薬の飲み忘れが心配
- ・薬の種類が多く管理が大変
- ・施設入所にはまだ踏み切れない
- ・認知症と診断あり
- ・離れて暮らしているが、コロナ禍もあり、しょっちゅう行き来できない



週に1回 6時間空けて 食間

訪問看護 評価 お泊り 通い

ケース 2. ご家族様の休養、介護不安の解消



ケース 3. 生活支援



ケース 4. 在宅療養

訪問看護
お泊り

- ・がんのため定期的に抗がん剤の投与あり。
- ・体調の悪いときだけ泊まりたい
- ・体調を確認してほしい
- ・最後まで自宅で過ごしたい。



ケース 5. 看取り、家族支援

自宅で看取りたいけど自信がない
でも本人は帰りがっている
最後まで共に支えて欲しい。

ガンコなんだから

家とお母ちゃんのごはんが一番！

訪問看護
お泊り



エンド・オブ・ライフケア と リハビリテーション

株式会社REVIVE 訪問看護ステーションありく布施
理学療法士 楊川雅弘

訪問看護ステーションありく布施の紹介





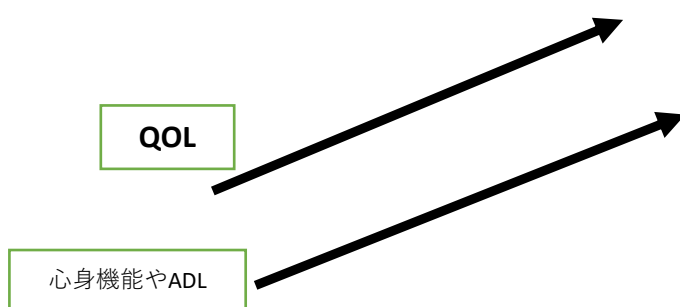
訪問看護ステーションありく布施

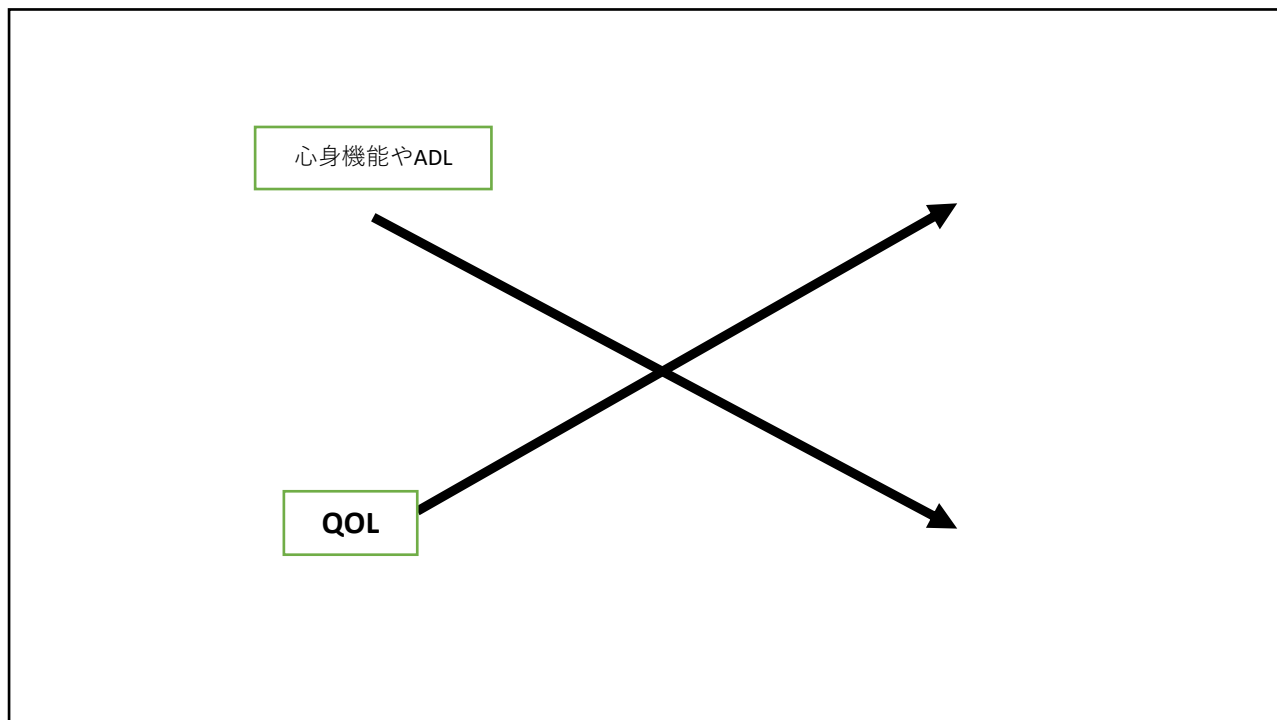
- 地域で「いきる」を支えるOne Team
をモットーに日々、活動しています。
→利用者様が「生きる・活きる」を感じられるよう
に支援していきたいと思っています。
- 今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

QOLとは？

- QOLとは、「Quality of Life（クオリティ・オブ・ライフ）」の略称で、日本語では「生活の質」などと訳され、「生きがい」や「満足度」という意味があります。QOLの評価は、人が人間らしく満足して生活しているか、自分らしい生活が送れているか「生活の質」を評価する概念です。
- 驚くべきことに、規律性の高い人は長生きする傾向があるが、規律性の低い人よりもQOLが低くなる可能性がある。
- 「医療の目的は長生きでなく、気持ちよく生きて、気持ちよく死ぬこと！」

QOLが高めるためには





元船長のYさんとのエピソード

- 商船三井で大きなタンカーの船長をされていました。
- 世界を渡ってこられた方なんで、スケールが大きく、いろいろなことをお話して下さいました。
- 自宅で再転倒をし、寝たきりになり、最後は肺炎で96歳で亡くなりました。
- 日ごろから
「海に出たいな～、海を見たいな～」とおっしゃっていました。



理学療法士の強み

- 理学療法士のみならずリハスタッフの強みは、動作のプロです。
- 動作が困難な利用者に対して、動き方や福祉用具の選定等を駆使して動きや行為を支援することができます。

父親の看取りを経験して

- 頭頸部の癌で、眼窩と鼻腔奥に生じた粘表皮癌でした。
- 発症してちょうど1年で生涯を閉じました。
- 当初、主治医より比較的悪性度が低いと言われていました。ところが、状態は悪化していき、父の場合は悪性度が高いものでした。
- 父の願いは「孫が小学校に入るまででええから生かせてくれ！」

唯一逆らえなかった看護師さんの存在

父は往生際が悪く、病気が発覚した時も長年吸っていたタバコはやめられませんでした。

入院中もよく外でタバコを吸っており、そんな父に本気で怒ってくれた看護師さんが現れてくれました。度重なる注意でも、なかなかやめられなかったのですが、ある時その看護師さんが「楊川さんはホンマに治す気があるん？孫が育つまで生きるんやろ！」って、泣きながら怒られたそうです

- 死前喘鳴はほんとに見るに堪えがたい。
- 主治医は「本人は苦しくないよ」とだけ。
- しかし、看護師さんだけは泣いて称えながら悔やんでくれました。

最後に

- エンドオブライフケアとは

「生が終わる時まで最善の生を生きることができるように支援すること」

- 今後も訪問看護ステーションありく布施は、最善の生を生きるために～地域で「いきる」を支えるOne Team～として時には望みをかなえてあげ、父がお世話になった看護師さんのようにその人のためになることを伝え、利用者様の最大の支援者になれるよう頑張ります！

ご清聴ありがとうございました。